

ブリオレットの20

メス 2020年1月15日生 | 鹿毛 | 美浦・田島俊明厩舎 | 追分ファーム生産



一口価格: **16,500円** ※2022年保険料 528円 募集口数: 1000口 【競走馬出資金総額 1,650万円】



治郎丸敬之の馬体診断

新種牡馬マインドユアビスケットの評価は、競馬関係者の中でも大きく分かれています。ダートの短距離を得意とする産駒を出すだろう派と、芝の中距離でも産駒は走るとはなにか派の2つ。それはマインドユアビスケット自身が、芝の中距離馬のように手肢が長く、幅が薄くて胸部に伸びがある、ゆったりとしたシルエットの馬体を有しながらも、ダートの短距離G1であるドバイゴールデンシャヒーンを2連覇したという不思議な馬であったからです。ちなみに、僕はどちらのタイプも出るかも派（ズルいですね）。どちらのタイプかは、それぞれの馬の体や気性を見るべきで、ブリオレットの20は前者だと思えます。前軀と後軀だけではなく、全身に豊富な筋肉がみなぎっている同馬は、ダートの短距離でパワーとスピードを生かして勝負するタイプということ。顔つきからは気性の素直さが伺えますし、馬体の完成度が高いため、早い時期から動いてデビューできるはずで。

POINT

父マインドユアビスケットはこの世代が産駒デビューとなる新種牡馬ですが、ドバイゴールデンシャヒーン（ダ1200m）を連覇したトップスプリンターです。圧巻なのはそのレースぶり、特に2018年の当レースでは直線最後方から目の覚めるような末脚で全馬をこぼろ抜き、連覇を達成しました。本馬の母父ロードカナロアは日香のチャンピオンプリンターであり、母系には日香のチャンピオンマイラーのハットトリックの名があるようにいずれも世界を股にマイル、スプリント戦線で活躍。初仔の牝馬で馬格だけが心配でしたが10月時点で体高160cm体重470キロ台と、既に十分なサイズまで成長。筋力が必要な短距離路線でも力負けせずに力強く走り抜けてくれる事でしょう。

※測尺・馬体重はHPで最新情報をご覧ください。